

## 前回の審議会でもいただいたご意見

## ○ 地域防災リーダー養成に関する考え方

- ・地域防災リーダーでは、男女が共に参加するということがスタンダードになる形を目指す必要がある。
- ・防災は、男性中心になりやすい領域であるからこそ、活躍できる女性を育てるということに、てこ入れしないとうまくいかないのではないかな。
- ・地域防災リーダーというのは、1人、2人だけに限らずに、女性や若い人たちにもなってもらえるような形、地域防災リーダーに限らず、地域の核になってももらえるような方々を作っていくことが必要。
- ・リーダーになるのは、地域の中で発言力が強い人になりがち。そういった人以外の、普通の人にも参加してもらえるような仕組みが必要ではないかな。
- ・地域の中で、一人ひとりがその気になってもらうことが必要。
- ・考えようと言っても、考える人は全体の3分の1しかいない。
- ・地域リーダーの制度は、マンションが多い中心部ではなかなか難しいのではないかな。

## ○ 女性がより多く参加してもらうための参加者推薦の工夫

- ・防災リーダー研修の参加者を町内会から推薦してもらうといっても、どうやって女性を多く推薦してもらうのが難しい。
- ・町内会からの推薦だと、ほとんどが男性になるだろう。各町内会から女性を何名出してくださいなど、割り当てすることも必要だ。

## ○ 女性がより多く参加してもらうための広報の工夫

- ・募集用のパンフレットに掲載する絵を女性にするなど、工夫が必要。
- ・女性の活躍の事例をのせるなど、女性が自然とリーダーとして活躍できるような、ロールモデルを紹介できるような広報を工夫する必要がある。

## ○ 女性がより多く参加してもらうための開催の仕方の工夫

- ・女性が受講しやすいように、1回の講習が短時間で終わるようなものであれば、長期間になってもいいのではないか。
- ・日中は、地域に残っているお母さん方が活動の中心になるので、そのような方々が地域防災リーダーなどになりやすいような条件を整えていくことが必要ではないか。そのこと自体が、地域、町内会に女性がもっと参画しやすいような状況を作っていくことになるのではないか。
- ・市民センターやコミュニティセンターなど、地域のものを活用するほか、女性や若い人たちが参加し、講習を受けやすい環境にしていくかということ、地域の実情を把握すれば、いろいろ工夫できるのではないか。

## ○ カリキュラムの工夫など

- ・地域には様々な資源があるので、そういったものを掘り起こすなど、地域の特性を踏まえた訓練ができるといいのではないか。
- ・地域防災のことは、町内会、婦人防火クラブ、ボランティア、消防分団、民生委員、障害者、学校など、実際に避難所で働いた方々を含め、団体のリーダーを集めて、縦のつながりと横のつながりを深めながら、検討すべき。
- ・地下鉄を使つての避難訓練や、宿泊訓練も有効ではないか。
- ・子どもを持っている人たちも動きたいが、動けないという状況があつたが、心理的なケアなど、そういったカリキュラムだと参加しやすいのではないか。
- ・災害への対応を、短期的なもので想定すると、男性的な視点が中心の地域防災になりがち。避難が長期化してくると、プライバシーや衛生面、娯楽、コミュニケーション手段などの面からの検討など、女性的な視点が必要になってくる。
- ・それぞれの立場を尊重することが大切。復帰のプロセスの中で、復帰が遅れていく人たちへのケアを考えていくことが必要であり、シュミレーションしておくことが必要。
- ・企業が地域の中でどのように役立っていくかということ、5年先、10年先を見据えて考えていくことが必要であり、そういうものとの連携も必要。